

なんだかんだでキスしてくれる
あなた想いのイケメンお姉ちゃん

2020/12

回人音楽サークル『ウラオモテ』

1. イケメンお姉ちゃん

主人公、姉の部屋のドアをノック。

開ける。

姉、落ち込んだ顔の主人公を見て、優しい声で。

【全体的にゆったりと、優しい喋りで】

《◆正面/50cm》

イケメン1 「どうした? やな」とあつた?」

イケメン2 「い、いよ、」ひきかえて。お姉ちゃんが撫でてあげる」

主人公、姉の前に座る。

姉、主人公の頭を撫でる。

《◆正面/30cm》

イケメン3 「よーし、よーし……大丈夫だよー。」

イケメン4 「お姉ちゃんが、そばにいるから……な?」

イケメン5 「よーし、よーし……」

イケメン6 「で、ゆーか、たまには笑顔で部屋入つて」い、よー」

「落ち込んだ顔だと、可愛くないぞー。」

イケメン 8 「くす。拗ねちゃった」

イケメン 9 「お姉ちゃんからしたら、こいつになつても、お前は
可愛こおれはでない」

◆正画/10cm 頬を近づけて、ねじる

イケメン 10 「可愛く笑顔……見たいなー」

イケメン 11 「母親、『おせもへ』 つい顔でくれるよかせ、最つ
幅の笑顔なのこ……」

イケメン 12 「ねやすみの前にそんな顔をれたら……アタシも眠れ
なうじやく」

イケメン 13 「お姉ちゃんこ、何かしてほこいわあねー。」

イケメン 14 「うん。 ほいこ」

◆正画/30cm

イケメン 15 「……キス。 もたこ。」

イケメン 16 「だめ。 それ以外」

イケメン 17 「こつもほいこはさうれあ、フシーハいこのは、
やつわやダメなんだつこ」

イケメン 18 「なんでつこ、ほいこ……家族、だしへ。」

イケメン 19 「法律的に、なんか、いけなかつた、はよ……多分」

イケメン 20 「や、昨日やつあげたのは、お前がめむやくちや落
ち込んだから……仕方なくこ。」

イケメハ 21 「うー、われら擦れ込むな。われらおなじくや擦れ込むな」

イケメハ 22 「やあい……ああいのやあい」

イケメハ 23 「騒ぐれなこわ」

イケメハ 24 「ここのアヒトの隠してや、やのキスはしない。分かうだー。」

イケメハ 25 「ハー、お振るやう嫌い。」

イケメハ 26 「せー。」

イケメハ 27 「くー。」

イケメハ 28 「や、ハ、くー。」

イケメハ 29 「ハ！」#隠れなこわもーうじやー」

イケメハ 30 「弱い舐めでたわせじやなこー」

イケメハ 31 「せー、隠してあせりぬー、じいにか處がやいとーれ
ぬー……」

イケメハ 32 「ドヤ……キレせー、せー……やうまい……大切に
しなこと」

締めする理由ある事だから……。

イケメハ 33 「やいわい。おな人と、締めする壁立つたや
うだから。おちうてスンヤー」

だから、お振るやうしない。マー。

イケメハ 34 「えー、だからー、お一矢かつてねえなお振」

イケメハ 35 「だからじやなこーだよ」

お姉ちやんと結婚するー。

イケメン 36 「せーせー、 お姉ちやんと結婚ねー、 勝手に考
えらればー~。」

イケメン 37 「……大きくなつたら、 セウモ^{シウモ}いじくれなくなるで
しょー!」

イケメン 38 「純粋なんだから小悪魔なんだか」

(大きくなつため息をついて、 やれやれ、 と)

イケメン 39 「はあ……じやあ、 一回だけな」

イケメン 40 「一回キスしたら、 お姉ちやんの「ふ、 また好きになつてくわね~。」

イケメン 41 「そつか……なら、 仕方ない」

イケメン 42 「」¹ つか来て。 布団に隠れるの」

イケメン 43 「お母さん、 ノックしないで入つてくわから……見つ
かつたら大変じやん」

布団にもぐつてもぐもぐ。

《◆出画/10cm》

イケメン 44 「ん……はあ……ん……」

イケメン 45 「せー。 ふふふ」

イケメン 46 「うん…… 一回だけ……来て~。」

◆戻/0cm サス

イケメン 47 「ん……ちゅ……」

(主人公に向度も迎ひれるサス)

イケメン 48 「んい……ちゅふ、ちゅ……ちゅ……ん、ちゅ」

イケメン 49 「分かつてたよもひ、ちゅ……だから隠れたんだ
よ……ちゅ、んちゅ……ん、ちゅふ、ちゅ……ん
ちゅ」

姉、そつと主人公を撫でる。

イケメン 50 「せこせこ、なだなだもしてあげるから……ちゅ……
もひもひお来て。ちゅい、ちゅ……お姉ちゃんへの
いじ、抱きしめと~」

イケメン 51 「ちゅ……ちゅう……ちゅふ、ちゅ」

イケメン 52 「ふー、ふー……ちゅ……ふー、ふー……ちゅふ、
ちゅ……ふ、ちゅ……ふー、ふー……ふー、
ちゅ……ちゅふ、ちゅ……ちゅふ、はお」

◆戻/10cm

イケメン 53 「ふふ。可愛らしくて、やいと睨むてくれた」

イケメン 54 「お嬢になつた~」

イケメン 55 「そつか」

イケメン 56 「お嬢になつたんなら……キス、やいとやめてごこち
ね~」

イケメン 57 「やだ~」

イケメン 58 「わいと~」

イケメン 59 「わいと~」

イケメン 60

「でも、もつ落ち込んでなごじゅ~」

イケメン 61

「ふふ。またわざと落ち込んで……」

イケメン 62

「しゃがなこなめ……やうな懶れただら……」

◆戻り/0cm》

イケメン 63

「(豊か) お姉ちやくも、抱きしめたくなぬじゅ~」

(今度は姉から貰ふよつなキス)

イケメン 64

「せむ……わく……せおむ……わく……ああむ……

わく」

イケメン 65

「せむ、はむ……はあむ……わく、わく……

わく、わく……あむ、わく」

イケメン 66

「興おこ……わく……体わく、歯わく」

イケメン 67

「あむ、わく……わく、わく……おもてわく……

わく……わく……えーーー、わく……えーー、わく

イケメン 68

「」さなに体へつたれねど、お腹がドヤドヤしている

の、バーバーダな

イケメン 69

「ふ、わく……わく……」

イケメン 70

「お姉ちやくも~、ふふ。氣のせいでじゅ~」

イケメン 71

「はむ……わく……はむ、あむ、ちゅう……はあむ、
わく……はむ、わく……えーー、わく……えーー、
わく」

わく」

イケメン 72

「ちゅーが、こつになつたら飽きるの」
やめほしくないとわんぱかりにキスしてくれる

主人公。

イケメン 73

「ん、ちゅ……んー。ちゅ、ん、ちゅ、やぬく
れないの?」

イケメン 74

「ちゅ……わんわん、やめよ。ちゅ……やめ、ちゅ、
ちゅ、んちゅ……むひへ、好きわんかよへ」

イケメン 75

「ちゅ……分かったから……ちゅ、ちゅふ、んーへ、
ちゅ……ん、ちゅ……んへ、ちゅふ、ちゅ……
ちゅうう……ちゅうつちゅ……はあ」

《◆正面/10cm》

イケメン 76

「じゃあ、」のまま寝る。こごよ、別に。お姉ちや
んのベッドでこなり、「」のまま寝ちゃは

主人公、シーツにすりすり。

イケメン 77

「う、シーツの匂い嗅ぐな」

主人公、姉にすりすり。

《◆正面/10cm 姉の胸元に主人公の顔が来るイ
メージ》

イケメン 78

「や、アタシの匂いも嗅ぐな」

イケメン 79

「ああもつ、」まだ出でん坊なんだ……」

姉、優しく主人公を撫でる。

イケメン 80

「好きでいてくれるのは嬉しいけど……大人になるま
でに、かやんとお姉ちゃんを卒業するんだぞ?」

イケメン 81

「やつらがつまんなの」

イケメン 82 「今、好きな人いないの? アタシ以外に」

お姉ちゃん。

イケメン 83 「アタシ以外にって」

「……」

イケメン 84 「んーいないかー。でも、そのうち出でよう。もひとつ、心の底から、大好きだなあって思える人が」

イケメン 85 「今はいなくても、そのうち、ね」

イケメン 86 「そ、う、うもんなの」

イケメン 87 「ん? 別にそ、うなつても、お姉ちゃんは、済んでないよ」

イケメン 88 「ほ、うだつて」

イケメン 89 「心配?」

イケメン 90 「済めるわけないじゃん。だって、お姉ちゃんなんだか、ひ」

イケメン 91 「ふふ。そ、うもんなの」

イケメン 92 「将来の「」かせ、将来考えれば、こ、よ」

『◆正規/0cm 『今』の口元まで動いて、優しい

キス』

イケメン 93 「今は……こちゅ……(嘘) お姉ちゃんに、甘い

なよ」

主人公、姉の言葉に甘えてキスを迫る。

（より激しく、主人公に迫られるキス）

イケメン94

「んい　ちゅ、　んちゅ　ちよ、　んい、　ちゅ、　ちゅ、
ちゅ　……」、「あ、　ん、　かゅふ、　かゅ　……」、「あ、　んい、
ちゅ　……」、「あふ、　ちゅ　……」、「い」

イケメン
96

「ほんまり乱暴もつと優しく、しよ?..」

155

（じっくりと、唇をずっとくつ付けるキス）

イケメン97

「ん――ん――」

イケメン99

「ん～～～んん～～～かわせん」

イケメン10

「お前の顔、やわらかいな」

イケメン10

イケメン10

「ん
ん

(い) がは絶れ、せないといけない關係なのに
自分もまた主人公に甘えてしまつてゐる)

イケメン 106

「はあ……アタシもアタシだなあ」「うめんなー、」んなお姉ちゃんが

イケメン 108

「ん————ちゅ……別に……独り言」
「ん————ちゅうう」

イケメン 110 「次で最後な」

イケメン 111 「(囁き) ちょっとだけ、大人なキス、しちゃねー
か」

か

(舌が触れやうや、でも触れない、唇をむかせぬ
キス)

イケメン 112

「はあ……ん——、ちゅん……ちゅう……はむ、
ちゅふ……あ、ん、はむ、ちゅ、ちゅう……れる、
ちゅ……んちゅふ、ちゅう……ん、ちゅ、はあ」

《◆両耳/10cm》

イケメン 113 「せご、今田の分は終わる」

イケメン 114

「だめ。もうキスしない。」」れ以上キスしたら、疲れ
なくなれるでしょ~。」

イケメン 115

「ビハーフでもキスして欲しいんだつたら……また明日、
お姉ちゃんにビハーフよ」

イケメン 116

「ビハーフが下帯だつたら、キスしてあげない」

イケメン 117

「でも、お姉ちゃんをその気にさせてくれたら……や
したい……」

《◆左耳/耳元囁き》

イケメン 118 「歸れなくなるまで、キスしてあげる」

《◆両耳/10cm》

イケメン 119 「なに」」ヤ」」ヤ」」てんの。耳へ囁く」

イケメン 120 「せご、おま——つしていいから」

抱かれて一人。

《◆左耳/耳元 111 かわ壁也》

イケメハ 121 「え……せぬ……ふ……」

イケメハ 122 「相変わらず抱か心地いいなあ」

イケメハ 123 「せあ……♪」

大好き。

イケメハ 124 「えー。 せこせこ、 お姫ちゃんも、 大好きだよ」

イケメハ 125 「ねやかな」

(60秒。 寝息のアラマハ)

イケメハ 126 「ホー……ホー…… (★60秒) 」

(01-END)